

第66回日本東洋医学会学術総会スポンサードセミナー
第22回 東洋医学シンポジウム

漢方エキス製剤 の上手な使い方

— 困ったときの この一手 —

日 時

2015年6月13日(土) 9:00~11:00

会 場

ANAクラウンプラザホテル富山「鳳」(第6会場)

〒930-0084 富山県富山市大手町2番3号 TEL:076-495-1111(代) FAX:076-495-1155

オーガナイザー

木村 容子 先生
東京女子医科大学 東洋医学研究所

シンポジスト

奥中 美恵子 先生
医療法人明和病院 耳鼻咽喉科

福永 智栄 先生
日本赤十字社姫路赤十字病院 緩和ケア内科

黒川 貴代 先生
医療法人社団康喜会 辻仲病院 柏の葉

中原 恭子 先生
広島・医療法人社団女性クリニック ラポール

佐々木 真美 先生
宮城・定禅寺フローレンスクリニック(消化器内科)

野本 真由美 先生
新潟・医療法人社団素馨会 野本真由美スキンケアクリニック

例年行なわれておりましたクラシエ薬品(株)主催サテライトシンポジウムは昨年を以って終了いたしました。
今年度より新たにスポンサードセミナーとして学会会期内で開催いたします。

開催日時が金曜日の午後から土曜日の午前へと変更されておりますので、どうぞご注意ください。

共 催

第66回日本東洋医学会学術総会 クラシエ薬品株式会社

第22回 東洋医学シンポジウムのご案内

オーガナイザー

木村 容子

東京女子医科大学 准教授 東洋医学研究所 副所長

< ご挨拶 >

これまで、日本東洋医学会学術総会の開会式前に行なわれておりましたクラシエのサテライトシンポジウムが、2015年度よりスポンサードセミナーとして総会の正式プログラムとなりました。

本シンポジウムは寺澤捷年先生、後山尚久先生と歴代コーディネーターが掲げてこられた「こんな時には漢方を」の基本コンセプトを継承しつつ、「漢方エキス製剤の上手な使い方 - 困ったときの この一手 -」と題し、新たな目線で現代医療へエキス漢方を取り入れる実践的な方法をご紹介しますと考えております。

今回は、消化器内科、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、緩和ケア内科、漢方診療科の先生方にシンポジストとしてご参加いただき、幅広い分野にわたる漢方治療の実際についてご紹介いただきます。

第一部では、西洋医学的治療だけでは十分とは言えない疾患や病態に対し、漢方エキス製剤を治療に組み込むことで、より優れた効果や高い満足度が得られた症例についてご提示いただき、日常診療における漢方療法、とりわけエキス製剤の使い方について話し合います。

第二部では、頻用処方の中から、「抑肝散加陳皮半夏」と「補中益気湯」を取り上げ、各科での使用経験を提示していただき、現代の“口訣”を考えてみたいと思います。

各先生方が診察時に頭の中に思い描いていることをできる限り具現化することで、明日からの臨床に少しでもお役に立てるシンポジウムを目指したいと思います。